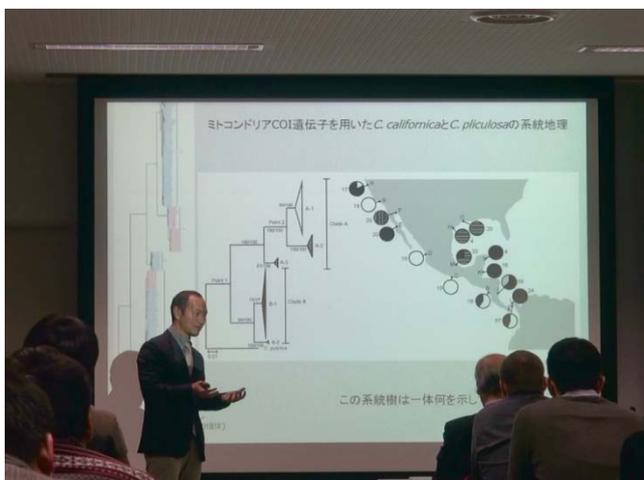


高知大学・琉球大学合同『若手研究者育成のためのシステム改革シンポジウム』を開催しました。

文部科学省科学技術振興調整費「若手研究者の自立的な研究環境整備促進」に採択され、テニュアトラック制度の導入に取り組んできた高知大学と琉球大学が合同で、1月25日（土）、高知大学朝倉キャンパスにおいて『若手研究者育成のためのシステム改革シンポジウム』を開催しました。

シンポジウムでは、高知大学のテニュアトラックプログラムである「イノベーティブマリンテクノロジー研究者育成」事業で活躍中のテニュアトラック教員2名及び琉球大学のテニュアトラックプログラム「亜熱帯島嶼科学研究拠点を担う若手研究者育成」事業（平成24年度終了）でテニュアトラック教員としての研究活動を経て、琉球大学のテニュア教員となった若手教員2名による研究成果発表が行われました。



三浦 収 特任助教(高知大学)



寺本 真紀 特任講師(高知大学)



James Davis REIMER 准教授(琉球大学)



浅海 竜司 助教(琉球大学)

冒頭に、高知大学 脇口学長から開会の挨拶があり、続いて独立行政法人科学技術振興機構 豊田プログラム主管からテニユアトラック制度の現状と若手研究者の活躍の状況が紹介されました。

さらに、独立行政法人海洋研究開発機構 高知コア研究所地下生命圏研究グループ グループリーダー 稲垣史生氏をお迎えし、「地球深部探査船「ちきゅう」が切り開く海洋地球生命科学のフロンティア」と題した特別講演が行われた後、琉球大学 西田理事による閉会の挨拶で締めくくり、教職員や学生等、約 80 名の参加者を得て、盛況裡に開催されました。



脇口 宏 高知大学長による開会の辞



左:総合司会の小槻 日吉三 研究担当理事
右:(独)科学技術振興機構 プログラム主管
豊田 政男 氏



(独)海洋研究開発機構 高知コア研究所
地下生命圏研究グループ グループリーダー
稲垣 史生 氏



西田 睦 琉球大学理事による閉会の辞